

中山大學

二〇〇六年攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 347

科目名称: 基础日语

考试时间: 2006年1月15日上午

考生须知

全部答案一律写在答题纸上,
答在试题纸上的不得分! 请用
蓝、黑色墨水笔或圆珠笔作答。
答题要写清题号, 不必抄题。

一、下線部の漢字に振り仮名をつけなさい。(計10点)

- (1) 冬になると、山の頂と下界とは、全く切り離されてしまうのです。
- (2) 殺した獲物をキャンプまで運んで帰った。
- (3) これだけで旅行の費用を賄えるだろうか。
- (4) 国王は若者の口から、それが老母の知恵であることを知り、老人の尊ぶべきを悟ってさっそく棄老の掟を廃するに到ったという。
- (5) 日本海側は汽車が豪雪に立ち往生しているのに、太平洋岸は空っ風が吹きまくる。
- (6) こちらがどんなに論してきかせたところで、あの男にはまったくききめがない。
- (7) もっと合点のいくように説明してくれ。
- (8) この地に住む限りは、その襲撃から免れることはできない。
- (9) 彼らは和やかな雰囲気の中で話し合った。
- (10) それだけの実力がなくても世間体を取り繕うために、無理してはでな振る舞いをする人が多いようです。

二、次の語句の片仮名を漢字に改めなさい。(計10点)

- (1) そのためには職を賭すカクゴである。
- (2) この藤野先生は服の着方がムトンジャクで、ネクタイすら忘れることがある。
- (3) 日本語はロンリテキでないことばが多いと言われます。
- (4) うちの亭主の甲斐性のなさにはアイソが尽きたわ。
- (5) 「文明開化」に努めることは、日本を封建社会から、近代社会にダッピさせる必要な条件であった。
- (6) あした横浜に着きますから、ホテルのテハイをお願いします。
- (7) 彼女はパリ時代を思い返してキョウシュウを感じた。
- (8) 田中さんは独身の兄にギリ立てして結婚しないんだ。
- (9) あの時分、どうして私の作品はサえなかったのだろうか。
- (10) 彼が最近出した小説は批評家の間で評判がカンバしくなかった。

三、次の文の下線をつけた言葉の意味について説明しなさい。(計20点)

- (1) 定年退職した上司はいま平凡な明け暮れを送っている。
- (2) 僕の財産なんて高の知れたものだ。
- (3) 思いのほか、恐怖感はなく、どうせ犬死にするなら、せめて油虫を生かしてやりたい。
- (4) あれ以来彼女からはまったく梨のつぶてだ。
- (5) 戦争中の食糧不足で、人間は牛馬さながらの食事を余儀なくされた。
- (6) 頼まれ事を断ると角が立つが、「折角の思召しに候へども」と書けばうまくいく。

- (7) へそ曲がりの人間だから、旅に出るとしたら、あてどない旅のしかたが好きなのだ。
(8) 映画自体はこのようなまわりくどい理論的な道によって自分を立証してきたのではない。
(9) 私はそれは今の自分の手には余る研究テーマだから、はっきりと断った。
(10) 立ち上がったはずみに眼鏡を落とした。

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(計 30 点)

ひとすじの道が、何年もの間、私の心にあった。

夏の早朝の、野の道である。(a) 青森県種差海岸の、牧場でスケッチを見ているとき、その道が浮かんできたのである。柵や、放牧の馬や、灯台を取り去って、道だけをかいてみたらーーと思いついたときから、そのひとすじの道の姿が心から離れなくなった。

道だけの(b) 構図でかけるものだろうかと不安でもあった。しかし、道のほかには何も書き入れたくなかった。① 象徴の世界の道がかきたかった。どこの道にかくというわけではないのだが、やはり、種差牧場の道を手がかりにして構成するのが、まとまりがよいように思えるのだ。ただ、その牧場をスケッチしたのは戦前のことで、十数年も前のことである。はたして、あの道が、あのままの姿で、今でもあるのだろうか。心細いことであつた。

入ってもむだではないか。なにも、あの道にこだわることはないとも考えられた。昭和二十五年のことであるから、旅行事情もあまりよいとはいえないころだったが、私の懸念は② そのことではなかった。最初よりどころとなった現実の風景が、すっかり変わってしまった場合、せつかく心の中に形成されかかっている道の影が薄れてしまうのではないかと心配だったのである。それでも、どうしても行ってみたくなった。

種差海岸の牧場へ行くと、その道は荒れてはいるが、以前のまま牧場の中を通って灯台の丘へと、緩やかに続いていた。③ 「来てよかった」と、独り言を言って、私はその場に立ちつくした。海へ(c) 傾斜している芝のスロープの中に、その道は両側を(d) 雑草に縁どられて、まっすぐに、緩やかにあがって行き、やや右へ曲がろうとして、視野から消えている。

しかし、④ 十数年前のスケッチから私の心の中に浮かびあがってきた道と、この現実の道とは、かなりの隔たりがあつた。今の目の前にある道は、夏の陽に焼かれ、土も草もかわいていた。道の土の持つ落ち着きのある情感、両側の草と道との境の細やかな味わい、以前はゆったりものが失われていた。向こうの丘のスカイラインも、以前はゆっくりとした線であつたが、今はその頂に岩が露出している。十年の(e) 風雪が洗い出したものであろうか。あるいは、戦争の荒廃の跡は、この、みちのくの果の牧場の道にもあらわれているのであろうか。

問い一 _____ 線部 (a) ー(e) の漢字に読み仮名をつけなさい。(5 点)

問い二 _____ 部①「象徴の世界の道」と対象的な言葉を文章からひとつ抜き出さなさい。(5 点)

問い三 _____ 線部②「そのこと」とはどんなことを指すか。文章中の言葉を使って答えなさい。(5 点)

問い四 _____ 線部③「来てよかった」とあるが、その理由を述べなさい。(5 点)

問い五 _____ 線部④「十数年前のスケッチから私の心に浮かびあがってきた道」とはどんな道を指すか、文章中の言葉を組み合わせて答えなさい。(5 点)

問い六 上の文章を読んで感想を述べなさい。(5 点)

(第3項在背面)

五、次の古典を現代日本語に訳しなさい。(計 10 点)

七夕祭るこそなまめかしけれ。やうやう夜寒になるほど、雁鳴きて来る頃、萩の下葉色づくほど、早稲田刈りほすなど、とり集めたることは、秋のみぞ多かる。また、野分の朝こそおもしろけれ。いひつづくれば、みな、源氏物語、枕草子などにことふりにたれど、同じこと、また、いまさらに言はじともあらず。思ふこと言はぬは、腹ふくるるわざなれば、筆にまかせつつ、あぢきなきすさびにて、かつ破り捨つべきものなれば、人のみるべきにもあらず。さて、冬枯の景色こそ、秋にはをさをさおとるまじけれ。みぎはの草に紅葉の散りとどまりて、霜いと白うおけるあした、やり水より煙のたつこそをかしけれ。(吉田兼好『徒然草』による)

六、次の日本語を中国語に訳しなさい。(計 25 点)

もし日本座敷を一つの墨絵に喩へるなら、障子は墨色の最も淡い部分であり、床の間は最も濃い部分である。私は、数寄を凝らした日本座敷の床の間を見る毎に、いかに日本人が陰翳の秘密を理解し、光りと蔭との使ひ分けに巧妙であるかに感嘆する。なぜなら、そこには此れと云ふ特別なしつらへがあるのではない。要するに唯清楚な木材と清楚な壁とを以て一つの凹んだ空間を仕切り、そこへ引き入れられた光線が凹みの此処彼処へ朦朧たる隈を生むやうにする。にも拘らず、われらは落懸のうしろや、花活の周囲や、違ひ棚の下などを填めてゐる闇を眺めて、それが何でもない蔭であることを知りながらも、その空気だけがシーンと沈み切つてゐるやうな、永劫不変の閑寂がその暗がりを通してゐるやうな感銘を受ける。思ふに西洋人の云う「東洋の神秘」とは、斯くの如き暗がりを持つ無気味な静かさを指すのであらう。……われらの祖先の天才は、虚無の空間を任意に遮蔽して自ら生ずる陰翳の世界に、いかなる壁画や装飾にも優る幽玄味を持たせたのである。これは簡単な技巧のやうであつて、実は中々容易でない。(谷崎潤一郎「陰翳礼賛」による)

七、次の中国語の文を現代日本語に訳しなさい。(計 15 点)

- (1) 他是一位知名度很高的电影演员，为此，他的一举一动受到人们的注目，新闻记者们竞相报导他的事。
- (2) 为了贯彻党中央实现干部队伍年轻化、知识化的方针，许多参加革命几十年的老同志毅然辞去了领导职务，退居二线。
- (3) 广州真是名符其实的“花城”，无论你走到哪里，都能看到盛开的鲜花。
- (4) 夜深了，月台上等车的旅客已经寥寥无几，他们都是来乘 12 点那趟上行列车的。
- (5) 先生留给我们的印象是不可磨灭的。虽然我和先生分别已经三十年了，但是还时时想起他对我的教诲。

八、下記のテーマについて小論文を書きなさい。(計 30 点)

テーマ：『日本語の特質』